

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			適切である
	②	職員の配置数は適切であるか	○			適切である
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		室内はバリアフリーだが活動の場の2Fへのエレベーターが無いので車椅子不可
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			日々、報告・連絡・相談を徹底し情報はスタッフ全員で共有。保護者や利用者への対応について話し合っている
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケート調査を行い頂いた意見から事業改善に活かすようミーティングして取り組んでいる
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			事業所からのお便りでお知らせHPで公開している
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		第三者委員会の設置はないが外部からの訪問や見学会等でのご意見・ご感想を参考にしている
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			法人全体で研修や勉強会など、学習機会を設けている。他、外部研修へも日程が合えば参加している
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			支援目標を定期的に保護者と見返ししている。その時のニーズが提供できるように計画を作成する
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントツールを使用して評価している
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			職員の意見や色々な意見・助言からプログラムを立案している
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			プログラムについては創作活動他園芸療法等、その時の子どものニーズを取り入れたものも提供している
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			本人状態に合った、その時期に応じた課題を入れている
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			共同作業が難しい人でも、作品作りなどで集まる事で人との時間の共有を感じられる機会を作る。集団活動を取り入れている
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			①役割など決めている ②当日は確認のみで済ませるよう前日で打ち合わせしている
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援内容の振り返りや反省会を行い、問題が生じた時や翌日はミーティングを行う問題点を共有し次の支援に繋げている
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援終了時に内容の改善がある場合は改善に繋げるようにしたり検証に役立てる

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的にモニタリングを行い、職員間のミーティングを見直している
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			利用者・保護者のニーズに合わせてSSTやコミュニケーションスキルの向上に向けたプログラムを提供している
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児発管と、時には個別担当の職員も参加させている
関係機関や保護者との連携	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか		○		学校との情報共有は出来ているが送迎時のトラブル発生については連携が取り難く課題もあり、場合によっては個人情報と言われ妨げになる事もある
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		現在は対象児がない
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		〃
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			色々な情報を提供している。他社の事業所と連携できているので紹介など行っている 当社も福祉サービスを展開している
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			必要な場合は随時相談できる体制を取っている
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		月2回、子どもたちの作った畑の野菜を子ども食堂へ届け役立たせてもらっている
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			定期的に参加している
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			常に連絡は取りあえる状態にあるが場合によっては保護者との意見が違う場合もあるので共通理解を持つようになっている
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			理解を深める為ペアレントトレーニングを受けたスタッフが適切な支援を行っている。保護者にも研修会への参加を呼び掛けたりしている
	保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		
㉑		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			その都度ご相談をお受けしています
㉒		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		保護者会等の設置はないが保護者同士の連携を支援する事はある

非常時等の対応	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情・相談窓口を設置し苦情のある場合は申し立てを出来る状態にしている
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			HPやくぬぎファームだよりを発行している。連絡体制は連絡帳やメールなど
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			細心の注意を払い管理している
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			一人一人に合った伝達をしている
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			ファーム活動や地域清掃を通じて地域の方々にも気軽に関わって頂き交流がある
	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			スタッフ全員が把握し閲覧できるように掲示している
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			定期的に行っている(急遽、予告なしで実施する事もある)活動の中で避難場所にはよく行き慣れている
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			絶対にあってはならない事。全ての職員が研修に参加するようにしている
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			切迫性・非代替性・一時性があり利用者・または他の利用者等の生命または身体の保護をするため、緊急やむを得ない場合の時、説明し了解を得ている
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			アレルギーは保護者とよく確認し原因となるものは避けている
④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			マニュアル化し閲覧できるよう共有している	